〔昭和二十年三月二十日第三種郵便物認可〕　昭和六年十月二十一日　磐城新聞　〔水曜日〕　第三千二百六十號　〔一〕

秋のカタリ舍點景

池上富司

2

六時の朝食が、皆んなに運搬される。平熱四日目の私は重湯二杯、味噌汁一杯それにウメボシの實一箇（皮をむいてある）

『おまちどう樣』

私から、遠に挨拶をして床に胡坐をかいて喰べ始める。

皆んなは藥呑に賴つて、おもゆ、牛乳、水、梅干等一定の朝食が喰される。

朝食がすむ、一としきりの食器を洗ふ音、これが終へると、彼女等の朝食となる、食事中に呼鈴のならされる事を、厭ふ彼女等は室々に入つて、散藥を與へ、水を與へたり、便器を與へて用をすませ、食事中用の起らない樣、取計つてやつて食堂へおもむく、それでも、ききわけのない患者の呼鈴に引出される時もある、だから食事の前には用意周到な、注意で各室をめぐる。

朝食に限らず食後は比較的、患者が皆靜かになる八幡樣の境內から續く杉林に鳥が奇聲を擧げるのは、丁度朝食後と夕食後、氣味の惡い奇聲を擧げる鳥、林の中を飛び廻る鳥のギギギと叫ぶ樣な啼き聲、それに飛び飛ぶ眞赤なお彼岸とんぼ、まだ青い柿、草むらに虫がコロコロ鳴いて居る食後の窓外風景。

十時におやつ、正午の中食、三時におやつ、六時に夕食、目まぐるし食事オンパレード。それに朝、午、夕の檢溫が繰かへされる仕事が、彼女等を追ふ。

八人のSちやんは唱歌が大好き。

『おねえちやん、歌を唄つて頂戴』

彼女等の知る限りの童謠のメロデーが病舍に流れ出る。なごやかな午前の一シーン。

『Sちやん笑つて見せないオ』

『でもね、我慢してなけりや駄目よね』

『痛いのよオー我慢出來ない』

泣いて、苦しんで居るSちやんの可愛そうな苦痛を訴へる聲が、病舍に響く。

ポンポンポン、頓狂な、短銃の音が杉林の、彼方から、聞えて來る、向ふの聲中の校庭からなのだ、わアーと多勢の聲がする。今日は郡下小學校の陸上競技會があるとか云つたがそれだらう元氣に滿ちた、ガン聲がひゞき渡つて來る病舍の中からSちやんの笑き聲が聞こえる、トーキー『秋のカクリ病舍風景』のグッドビング

『あたしSちやんの笑つた……。

『あたし、今駄目だわ、ねむいから』

『そう、じや後でね』

顏にホータイを卷いてSちやんは、いつかのオヤツの折、どんなはづみか微笑した。

『あらつSちやんが笑つた！』

その聲にSちやんは再び笑つた。

愚庵遺稿（二）

（禁轉載）　島田忠夫錄

○旅中春雨

春雨のいともみたれて旅ころもしめりがちなる夕暮の空

○箱根山にて

箱根山けふ越行と我妹子はふみさへ見ねば恨みわぶらん

何處より見れどもあかぬふじの山けさの咏めはいとまさりけり

○清水港の宿りにて

せこやこひし勢子や戀しとおもふより夢に入りしかあはれ我妹子

春雨のいともみたれて旅ころもしめりがちなる夕暮の空

○箱根山にて

箱根山けふ越行と我妹子はふみさへ見ねば恨みわぶらん

何處より見れどもあかぬふじの山けさの咏めはいとまさりけり

○清水港の宿りにて

せこやこひし勢子や戀しとおもふより夢に入りしかあはれ我妹子

（この初めて見たのよ。隨分よくなつたわね、元氣も出て』

童謠の好きなSちやんは二三日前から、便通になやませられて居る。

『ねえちやん、痛いのよオ』

痩せた裸の股に、便器を朝からあてた儘、中食を取つて居る。

『おねえちやん、痛いのよオ』

『でもね、我慢してなけりや駄目よね』

『痛いのよオー我慢出來ない』

泣いて、苦しんで居るSちやんの可愛そうな苦痛を訴へる聲が、病舍に響く。

ポンポンポン、頓狂な、短銃の音が杉林の、彼方から、聞えて來る、向ふの聲中の校庭からなのだ、わアーと多勢の聲がする。今日は郡下小學校の陸上競技會があるとか云つたがそれだらう元氣に滿ちた、ガン聲がひゞき渡つて來る病舍の中からSちやんの笑き聲が聞こえる、トーキー『秋のカクリ病舍風景』のグッドビング

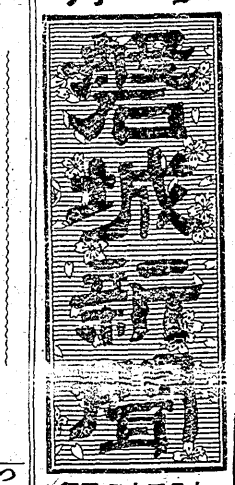
『あたしSちやんの笑つた……。

『あらつSちやんが笑つた！』

その聲にSちやんは再び笑つた。

『あたしSちやんの笑つた……。

夕刊



十月二十日發行

定價一ケ月金五拾錢　廣告料金　磐城新聞社　發行所　磐城新聞社　印刷人　柏木一郎　磐城新聞社印刷所　（日曜祭日翌日休刊）

時代警語（露伴）

○己を抑へて人に讓る、是の如きは他の動物に殆と無き處で人々のみ有り得る處である物に足らざるも心に足りて慾に充たざるも情に充ちて甘んずる、是の如きは他の動物に無くして人にのみあり得るところである……（努力論）

秋のカタリ舍點景

池上富司

2

六時の朝食が、皆んなに運搬される。平熱四日目の私は重湯二杯、味噌汁一杯それにウメボシの實一箇（皮をむいてある）

『おまちどう樣』

私から、遠に挨拶をして床に胡坐をかいて喰べ始める。

皆んなは藥呑に賴つて、おもゆ、牛乳、水、梅干等一定の朝食が喰される。

朝食がすむ、一としきりの食器を洗ふ音、これが終へると、彼女等の朝食となる、食事中に呼鈴のならされる事を、厭ふ彼女等は室々に入つて、散藥を與へ、水を與へたり、便器を與へて用をすませ、食事中用の起らない樣、取計つてやつて食堂へおもむく、それでも、ききわけのない患者の呼鈴に引出される時もある、だから食事の前には用意周到な、注意で各室をめぐる。

朝食に限らず食後は比較的、患者が皆靜かになる八幡樣の境內から續く杉林に鳥が奇聲を擧げるのは、丁度朝食後と夕食後、氣味の惡い奇聲を擧げる鳥、林の中を飛び廻る鳥のギギギと叫ぶ樣な啼き聲、それに飛び飛ぶ眞赤なお彼岸とんぼ、まだ青い柿、草むらに虫がコロコロ鳴いて居る食後の窓外風景。

十時におやつ、正午の中食、三時におやつ、六時に夕食、目まぐるし食事オンパレード。それに朝、午、夕の檢溫が繰かへされる仕事が、彼女等を追ふ。

八人のSちやんは唱歌が大好き。

『おねえちやん、歌を唄つて頂戴』

彼女等の知る限りの童謠のメロデーが病舍に流れ出る。なごやかな午前の一シーン。

『Sちやん笑つて見せないオ』

『でもね、我慢してなけりや駄目よね』

『痛いのよオー我慢出來ない』

泣いて、苦しんで居るSちやんの可愛そうな苦痛を訴へる聲が、病舍に響く。

ポンポンポン、頓狂な、短銃の音が杉林の、彼方から、聞えて來る、向ふの聲中の校庭からなのだ、わアーと多勢の聲がする。今日は郡下小學校の陸上競技會があるとか云つたがそれだらう元氣に滿ちた、ガン聲がひゞき渡つて來る病舍の中からSちやんの笑き聲が聞こえる、トーキー『秋のカクリ病舍風景』のグッドビング

『あたしSちやんの笑つた……。

『あらつSちやんが笑つた！』

その聲にSちやんは再び笑つた。

『あたしSちやんの笑つた……。

『あたし、今駄目だわ、ねむいから』

『そう、じや後でね』

顏にホータイを卷いてSちやんは、いつかのオヤツの折、どんなはづみか微笑した。

『あらつSちやんが笑つた！』

その聲にSちやんは再び笑つた。

『あたしSちやんの笑つた……。

拂華徹笑　木被害　やない濱職らしを着てよ髮を立兵庫に結て
廢合話に貧乏搖　◇　いのが　さ、好い着物は着放題、甘
ぎもせぬ稅額百　ルンペンの新戰　◇　い物は食ひ放題、浮いた浮
五十萬の平稅務　術、柔道衣で身　大商店の土間でいたで月日の立つのは忘れ
署　分証明　白蟻虫がすだく　て了ふ、サア〳〵大きなな
◇　◇　不景氣の秋は一　りをして泣いちやあ見つ
釣瓶落しに耀り　隱れてゐた。落　入寂しい　ともねへ拭きなよ、其顏を……
下つた石城の土　葉の下の松茸ぢ　○……○　夫れからカゴが來て、さ
つきから待つてゐる、雲助

一日一禪

可憐三尺龍泉劍　◇　達に笑はれちやア成らねへ
喚作陶家壁上梭　◇　松茸銀杏の白和へ　二、
講談　◇　筥松茸玉子燒　佐藤つぎ

俠艷女長兵衛

（四四）

東京　斯波南叟

（魚崎潮畫）

おテフの長兵衛もホーッと一息吐いた、表向にすれば莫大の時日を要して事が衛も女房の言ふ事が合點が面倒、迚も阿袈の葬式を當在かない、と思ひましたが、人に出させる樣な眞似は出併し眞逆此儘ア自分に物は入りません、娘は直にお來ない、其處で百二十兩の返申しますと云つたのさ』金をズラリ並べ長『是れはは氣が付かなかつた、お三助『此の阿魔途方もねえ事夕べ……イヤ今朝虎の熊五は……自分の出來る事ならを云やがる、是れを吉原郎が受取つて行つた金子此何でも……と云つたおテフへ持込めば二十五兩と三十方にあるのはホンの禮金……の言葉に、最う念願が叶ふ兩にならうてへものだ、巫山戲やがる』三『ナンだと……』と百二十兩の外に十兩ものとして、一切夢中だと島の場』眞山青果作の金子を地腹を切る女ア仰は厄介千萬な奴もあれば有せの事は私の場で計らつつてつたもの、トン〳〵〳〵と難が惡い、此處の家は誰のお其通り致しますが、此の十二階へ上つて來る、其處に藏』は彼と並木千柳の合兩と云ふ餘計なお金は頂きはおつゆがシク〳〵泣き、作也（寶曆六）△ナイチンますまい、其代り折入つて亭主助次郎が慰めて居る。ゲール、此日三十四人の阿方にに願ひが在ります、助『最う御前泣いたつて仕方がない、夫婦人を率ゐクリミヤ戰場私はお三と云ふ者です、おつたつて仕方がない、夫れますか仰しやつて御覽を願ひ三『此處では申上げ三が内々お願ひが有ります、に吉原と云ふところは、ど行つて一本立の老婆になつて見なさい、振手なしかけが、夫れをお叫ひくださいんなにか惡いと思つて居なタ（露伴）

池坊龍生派華道研究會

池坊龍生派華道の奮發を脫した最高級の研究を遂げるため『池坊龍生派華道研究會』を組織し第一回研究會を左の如く開催致す事になりましたから御入會の程お勸め申します。

一、期日十月二十五日（當分隔月第四日曜日開會）

一、研究科目　立華、生花、投入、自然

一、入會資格者　皆傳以上の者

一、講師　池坊龍生派總執事兼東北總會頭職

一心閣小武山華枝先生

小武山華枝先生は池坊龍生派華道教授として東北に於ける第一人者であります。

主催　岡田華悅社中

貸家案內

住心地良い新築貸家。
眺めの好い長橋新川端。
家賃は左記の所へ御相談下さい。
平町鍛治町　草野質店

池坊龍生派華道研究會

池坊龍生派華道の奮發を脫した最高級の研究を遂げるため『池坊龍生派華道研究會』を組織し第一回研究會を左の如く開催致す事になりましたから御入會の程お勸め申します。

一、期日十月二十五日（當分隔月第四日曜日開會）

一、研究科目　立華、生花、投入、自然

一、入會資格者　皆傳以上の者

一、講師　池坊龍生派總執事兼東北總會頭職

一心閣小武山華枝先生

小武山華枝先生は池坊龍生派華道教授として東北に於ける第一人者であります。

主催　岡田華悅社中

ラヂオ

…廿一日（水曜）…

仙臺JOHK

△六、三〇A　ラヂオ體操
△九、〇〇A　氣象通報
△九、一〇　料理獻立　一、松茸銀杏の白和へ　二、筥松茸玉子燒　佐藤つぎ
日用品値段
△一〇、三〇A　家庭講座（子供の抱き方と躾かせ方）上野陽一
△正午　A時報
△後〇、〇五A　落語（寫眞の指切り）三遊亭圓橘
△〇、四〇A　ニュース　氣象通報　告知事項
△二、〇〇A　家庭大學講座（論理學）早稻田大學講師中桐確太郎
△二、二五　六、〇〇A　運動競技（秋季六大學野球リーグ戰試合狀況豫備日）
△二、三〇A　經濟市況
△三、四〇　氣象通報
△三、五〇　經濟市況
△四、〇〇A　ニュース
△五、三〇A　經濟市況
△五、四五　今晚の番組豫告
△六、〇〇（子供の時間）童話劇（ライオン捕り）菅野蔵郎作　二、管絃樂　一、童話劇と管絃樂　ワード・オーケストラ
△七、三〇A　英語講座（初等科）村岡博
△七、〇〇A　ニュース　氣象通報　告知事項　番組豫告　生藥相場
△七、三〇　講演（東北の溫泉に就て）阿部忠一
△八、〇〇　神樂囃子　一、劍の舞　二、釣の舞　三、道中樂囃子
△八、三〇B　獨唱　ソプラノ…エミー・トーマピアノ伴奏　ヨセフリンケ
△九、〇〇A　放送舞臺劇（假名屋小梅…芝居茶うた島の場）眞山青果作
△九、四〇A　時報　ニュース　氣象通報　番組豫告　生藥相場

東北ヒヨケの元祖

防水布製　ヒヨケ。テント　シート。雨合羽　カーテン。各種

此のセキニンバンに御注意を願ひます。

常ニ品質ト技術ニ精進。間斷ナキ改良近頃弊店名儀をたくみに利用し受註する者有る故御注意を願ひます。

平町六丁目大通り

敷島テント商店

ハシモトヤ糸店

ピーハイブ手編毛糸　一封度　二・五〇
ダイヤ印優等毛糸　同　二・三五
スキー印手編毛糸　同　二・二〇
百合印優等毛糸　同　一・五五
中細、極細、アストラン、スコッチ
毎日階上で編物講習會を致して居ます……。
どうぞ御遊びに御出下さい。
平町田町
ハシモトヤ糸店

うな丼　金五十錢
蒲燒　金八十錢

鳥松茸料理　各種　一二十五錢
土瓶むし
季節料理を始めました是非試食を御願ひ致し升
出前迅速
田町錦水隣
魚榮
電話四二四番

冬の學生服

●景品付特賣●

黑小倉長ズボン付
一年生用　八十五錢
弊店特製　一圓卅五錢

生地に裁縫にお値段にこの自信をお買下さい

景品	特製名入鉛筆
	半打宛進呈

モリタヤ洋品店
平5丁目電353

貸切ッ御用命ハ

イツデモ眞先（マッサキ）ニ（松崎）

三九二（ミクニ）タクシー

（デンワ、ミクニ）へ

高久病院

院長　高久忠
平町田町　電五一三

市原醫院

（入院隨意）

內科、小兒科
外科一般、婦人科
外科、梅毒、淋疾
皮膚病

市原卯太郎
市原陸郎
市原三二男

平町田町本通
電話一一四番

泉屋麦店

（藤田女學校隣）
平田町
電話五一〇（呼出）

本日ヨリ

（甘黨陣屋開業）

味覺の秋

訪客に！　弊店獨得の
お茶に！　おしるこを

御繕しるこ
田舍しるこ
おぜんざい
ゆであづき

五錢均一

スピード時代に相應しく御用命は出前迅速何卒多少に不拘御用命の程伏して願ひ致します。

拾月拾三日

カキ貝御料理傳宣賣出し

松島漁業組合

カキフライ　金廿五錢
スカキ　仝
カキライス　仝
カキなべ　金四十錢

十月十七日ヨリ
御料理仕出し

一の井

電一六七番

夜間診療

腸毒

梅毒

內科　二十指腸病
淋病
皮膚病
婦人病
專門

內科部　外科部

松村胃腸性病科醫院

（平南町電話一〇七番）

廢合が斷行されても 平税務署は無風地帶
各方面から豐富な樂觀材料

大藏省では今回の行政整理により現在の徴税費九百二十七萬九千圓に對して約一割、即ち七十七萬五千圓を節約する爲めに全國の税務署三百四十五中約一割を廢止せんとしてゐるのであるが、これ等税務署の廢止によつて果して徴税上節約したゞけの効果があるか疑問とされてゐるのみならず廢止署名が公表される時にはその現在地の人々は極力反對する事は明瞭であるので來議會に提案された場合の紛糾は今から豫想に難からざるものあるが右に就て石城郡一圓を管轄する平税務署の立場はどうかと云ふに同署は租税及税外收入を併せ年額約百四十萬圓に上り東北六縣四十四署（本縣は十署）中實に第十一位に在る大署なばかりでなく地理的關係から觀ても中村、郡山に併合さるゝが如き立場に置かれて無いので今後該計劃が實現される場合があつても前後の關係上現在の管區に根本的の一大變革を來さざる限り平税務署丈けは先づ以て無風地帶と觀て大差が無い樣である

廿一萬九千餘圓
平土木監督所管內 出水被害概算

郡下に於ける過般の出水被害は其後引續き平土木監督所に於て調査を急ぎつゝあつたが昨十九日縣當局に報告した處によると神谷村地內の六十枚橋を筆頭に總額二十一萬九千三百六十四圓の內

（單位圓）

縣補助工事

區分	件數	復舊費	件數	應急費
道路	三三	二六、八五〇	二九	一、九五〇
橋梁	一三	三一、四二〇	一三	二、〇三二
河川	六五	一〇八、三三〇	三一	二三二
海岸	二	五、〇〇〇	—	—
計	一一三	一七一、六〇〇	七三	四、二一四

町村工事

區分	件數	復舊費	縣補助と合計額
道路	六八	一〇、三〇〇	三九、一〇〇
橋梁	六	三、七〇〇	三七、一五二
河川	一五	一九、五三〇	一三八、一一二
海岸	—	—	五、〇〇〇
計	八九	三三、五三〇	二一九、三六四

で應急工事は既に完了し他は同所で設計作製中である

五勝七敗の戰績で 東北代表軍敗る
古河、磐城、入山庭球選手 晴の大會で健闘

東北及關東鑛山關係庭球界の優良組を網羅せる仙臺、東京兩鑛山監督局管內對抗第一回庭球大會は一昨十八日午前九時から東京府下井草の西武鐵道コートに於て開催（東京側）三菱、日本石油、足尾銅山（仙臺側）古川（二組）、磐城、入山の各組が大接戰を演じ

古河 二勝二敗
磐城 二勝二敗
入山 一勝三敗

の戰績で敗れたが次回は更に大阪を加へ猛烈な三巴戰が行はるる事になるらしい

各競技大會
磐中の体育デー

磐中では來月の体育デーに蹴球、庭球、排球、籠球、弓道等の大會を開催する豫定で目下準備中である

○○○○○○ 兒童競技打合 郡內小學校兒童競技會委員會は今二十日午前九時より平第一校講堂に於て開催來月一日磐中グラウンドに於て行はれる競技會に就て打合せた

□□□□□ 青年聯合協議 石城青年聯合役員會は今二十日午前九時より平第一小學校標本室で開催來月十七、八兩日の發火演習について種々打合をなした

□□□□□ 磐中發火演習 磐中四、五年生の發火演習は二十三日四倉二十四日好間村上の原方面に於て行ふ

□□□□□ 第三校体操會 平第三校では來月六日体育デーとして午前九時より全校生徒約八百六十名の体操會を開催すると

某高等官の醜事件
近く白日下に暴露されん

磐崎村大字藤原請負業高木左久馬(三七)が不渡小切手を以て湯本、小名濱、植田方面の花柳界を飲み廻つた事件に關し其筋に於て取り調べの結果最近之に關聯して地方在勤某高等官に絡る醜事實が判明し既に司直の活動を見るに至つたものの如く今後の展開を刮目されてゐる

透明な水の誘惑 咽喉が乾いて鹽酸を
高坂女生の服毒眞相

內郷村大字宮字高坂高等二年生末永れふ(一五)—假名—が去る二日正午頃理科室備付の鹽酸を多量に仰ぎ自殺を計つた事件の眞相に就ては各方面から種々の憶測を傳へられて居たが最近漸く回復するに至つたので平署で昨十九日本人を召喚し取調べた結果同人は生來些か鈍感の方で當時美しい瓶に入つた透明の液体を毒薬と氣付かず喝を癒やす爲に嚥下したものと判明したので後見者である叔母アキに今後を注意して引取らせた

有聲座勝つ

平町青年學校對有聲座の野球試合は昨十九日午後三時半から平第一球場で開催五對四で有聲座勝つた

平町新風景
インチキ處女
結婚季節に當面して 氣を揉む多感の若人

地方の風習として舊の師走にはそつちでもこつちでも御祝儀があるので、其頃になると僅か二三時間の汽車旅行に牛蒡の白和えの樣な三四人の嫁御寮と乘り合はす事が珍らしくないんで[illegible]。其頃物になるのか丁度今時分から嘘八百とも云ひ度い位な媒人ロのフレームに掛けられてあるんです。

○

インチキ處女——。言葉に些かトゲがあつて耳障りではあるが場合によつては滿更マドモアゼルの冒瀆と許り云はれないんです。人目繁き赤に乘つて始終俯向き加減になつてゐる殊勝げな其等の嫁御寮のうち何ひとか風景子の所謂インチキ處女なしと斷ずる事が出來ませうか。盃踊りの夜の試練を否認する事が出來ませうか。而もそうした手あいが我が平町にして寧ろ多いと云ふに至つては世にも憂たてき極みなんです。

○

處でバスケット・ボールにハイヂャンプに心ゆく迄跳躍する今日の女性には單に所謂[illegible]ーメンの狀態を根據として彼女の誇りを否定する事は出來ないんです、即ち月例の手當を誤つたり物の哀れを感じ過ぎた場合の豪勢なまねで之を破綻に導く場合が少くない——とは今日弘く行はれてゐるその社會通念と云ふ奴なんで

○

異種蛋白体が女子の血液內に入ると血液と其れとが作用し合つて血液に陽性の反應をつくる樣になる——そこで血液を檢査すれば立ち處にインチキが暴露されて了ふんだが、之れとて特種の設備を以て巧みに性を密獵した隙かさない女性の場合には完全にその犯跡を韜晦されて了ふんです。

○

賢明なるタヒラの若き男性は夙に這般の消息に明るいんです、紅縄の縁成らんとして往々攔挫の狀態に置かれる所以の幾分かは此所に胚胎してゐると見て大差ないんです、結婚シーヅンを前に氣の揉める平町の婿がねなんです。憂鬱な晩秋初[illegible]なんです

訓練生夜學
今週から開始

平町青年訓練所生の夜學は今週から開始する事となり昨十九日午後七時より平第一校に於て始業式を擧行した會員四十名科目は修身、公民、國語、算術、地理、歷史、職業科で毎週月、火、木、金の午後七時より三時間宛指導員が授業すると

投書歡迎 檜

受驗準備小見

◇止み難い當人の向學心、出來ぬ中からも人にし度いと焦る親心、之の希望を達成して遣らうとする敎員の心やり。この三つが一つとなつた男女中等學校入學志願者の受驗準備が今年もまたそろ〳〵始まつた樣だ。

◇遊び度い盛りの子女が放課後暗くなる迄學校に殘るばかりか夕餐後當り前なれば食餉臺の傍でキドゴロ寢をして了ふ頃から更めて受持ち敎師の私宅へ出掛け之から夜晩く氷の樣になつて歸つて來るそれこそ本當に血みどろな受驗準備は見てさへ聞いてさへ一擲の涙無きを得ない悲慘事である

◇併し乍らそれは現在の入學試驗制度が改められぬ限り永久に救はれる日の來ない事は餘りに明白な事實である。而も半年が一年掛りの準備によつて何れも入學の希望を達し得るならば未だ忍ぶべしとするも其れ丈けの血税を拂つて尙ほ且つ往々入學し得ざる類例が蓋し少からざるに至つては轉た制度の殘虐さを呪すには居られ無い

◇そこで自分は考へた、不幸にして登第し得なかつた場合失望落膽の大きいのは餘りに大袈裟であつた受驗準備が茲に導くのではないか?。と云ふ事である、愚見幸にして一面の眞理なりとせば各父兄も學校當局も些か此點考慮を拂つて頂き度いと思ふ、但し準備不必要論と穿き違へられては困る。（仲町深憂生）

妻子を顧みぬ無情漢
饑餓に瀕する哀れな一家 平署で極力行方を探査

磐崎村大字下湯長谷字町下八四土工二瓶寅吉(三八)は去る八月十一日姙娠八ヶ月の妻ハル並に九才を頭に三人の幼兒を殘し北海道方面へ出稼すると稱して家出した儘音沙汰無い處へはるは數日前女兒を分娩し病弱の爲働く事も出來ず一家五名は殆ど饑餓にヒンして居るので見兼た附近の人々が互に持寄つて之を救助してゐる事此程平署員が探知し寅吉の行衛嚴探中である

□□□□□ 佑賢學舍雄辯會 平町佑賢學舍では來二十四日午前九時より第二回秋季雄辯大會を開催すると

徒歩で北海道から
空腹を抱いたルンペン 平署の窓口へ辿り着く

山梨縣中巨摩郡豊村大字十五所九二生れ澤登儀行(三六)は昨年五月中北海道余市郡赤井川村轟鑛山に於て失職後小樽市色內町四町目四二北川材木店で働く事となり月々郷里の妻子に送金して居たが同店でも再び失業し職業紹介所にも依頼して八方就職口を探して居たが生活苦を訴へて來る妻子の手紙に矢も盾も堪らず今月二日同地を出發し徒歩で昨十九日平町に辿り着き午後七時頃平署に一合の給與方を願ひ出た

昭和の武者修行
之も旨を求むる新手のルンペン

當時住所不定自稱東京府下日暮里町朝町一町目四七講道舘柔道二段虎戸正雄(三六)は昨十九日夜平署に出頭し所持の柔道衣と黒帶を示し自分は全國遍歷の武者修行者であるが何處か適當な無料宿泊所を敎へて貰ひたいと申出の前後に些か曖昧な節あるので食に有りつかんとする新手のルンペンと睨み係官が金十錢を恵れた處喜んで立去つたが最近之種搦れつ枯らしの放浪者が出て來たので財源の欠乏した役場、警察署などでも少からず手を燒いてゐる

詰らぬ子供の喧嘩に
双方の親が飛び出す
○○○○○○○○○ いがみ合ひの結果毆られて其筋へ

平町京の內日雇業渡邊千代三郎內縁の妻前林チヨ(四三)は若い折顔面に大火傷を負ひ常に手拭を以て醜い斑痕を隱してゐるが同家裏佐藤某の子供達が寄ると觸ると赤目の子だから遊ぶなと同人の子供を虐めるのを憤慨し激烈な身分上の惡口を以て酬ゐた事から親同志の喧嘩となり相手から高帶で散々毆打された上通路問題で意地惡くされるからと昨十九日平署に佐藤への說諭方を願ひ出た

小學敎員 縣外視察
目下部會で取纏中

縣教育會石城部會の縣外視察員は來月八日出發の豫定で行はれるが旅程は

第一班（男五名）兵庫縣姬路師範附屬校、姬路高等小學校、神戶市兵庫高等小學校、廣島高師附屬、福岡縣神興小學校

第二班（男五名）長野縣諏訪小學校、岐阜縣長良小學校、奈良高師附屬、三重縣桑名第三小學校、愛知縣安城町

第三班（女五名）東京男女高師附屬、玉川學園、成城學園、大富小學校、豐島農業補習學校

で希望取り纏めの上人選の筈であると

磐中圖書室
全校生徒に開放

磐中では最近寄宿生徒が僅か數名に減じたので圖書室を設け圖書千三百部を備へ着け來週より全校生徒に開放するが泉村出身の東京書肆山海堂主來島正時氏から出版圖書約百部の寄贈あつたので之分を來島文庫と命名した

長野消防幹部見學

長野市消防組頭宮下友雄氏外六名は昨十九日消防施設見學の爲來平實地に就て柏原部長の詳細なる說明を受け同夜出發した

硝煙の巷から

（前略）其後小生も勤務に餘念がありません一同は緊張して警戒に努めてゐた爲移民始め支那町民迄が安心出來ると言つて大變喜こんでゐる樣な譯です當地も氷が張る樣な寒さになつたので來月頃南領の兵管に行く事になりました

◇

小數の我が主力隊も破竹の勢を以て二十餘萬の支那軍を破り戰場と化した當地も今は平和同樣になりました然し吾等は尙ほ緊張し當地一帶の警戒に努めて居ります次に我等一同は勿論馬迄が元氣旺盛ですから幾重にも御省慮被下度ひ（井上榮市）

會と人

郡教育部會
來月八日總集會

縣教育會石城郡部會は來月八日午前九時半より平第一小學校に於て總集會を開催すべく會我部會長より十九日夫々各小學校に通知したが當日は庶務會計報告議事會員演說二十五年以上勤續者表彰及名士の講演あると

磐中音樂部

半歳前から開設された磐中音樂科は目下一年生に毎週一時間づゝ課してゐるが最近上級生希望者等によつて音樂部が組織され根本邦雄敎[illegible]

○○○○○ 磐中見學團歸校 横森、大橋、山名、飯田の四敎諭に引率され關西修學旅行中の磐中四年生は明二十一日午後七時十六分着にて歸校

○○○○○ 鈴木看護婦へ謝狀 平看護婦會鈴木ちよさんは永戸箕輪組合村隔離病舍に勤務中四十餘日間に亘り熱心職務に從事した廉により高久同村長から金一封を添へて表彰された

江名の漁夫
齒車を盜む

江名町大字江名居住新潟縣北蒲原郡松ヶ崎村生れ漁夫近藤喜一(三二)は一昨十八日夜同所漁業吉田六左衛門所有の倉庫に忍び入り發動機備付の底曳網用砲金齒車價格三十圓を竊取し古物屋に賣却費消した事平署員が探知昨十九日檢擧餘罪ある見込で取調中

橫領と盜み

內郷村大字宮佐藤亥之松(二二)は去月四日飯野村大字中山清水豐方から精白方を依賴された玄米一俵を他へ賣飛ばし橫領した外數件の竊盜を働いた事發覺十八日平署に檢擧された

○○○○○ 疫痢患者死亡 平町大町五諸橋スミ(四)は昨十九日疫痢の爲め死亡した

○○○○○ 平町清潔法延期 十八日の豫定であつた平町の清潔法は天候關係で二十四日に延期執行する事になつた

○○○○○ 大威張り 飯野村街道 飯野村吉野谷居住安達郡戸津村大字南戸津生れ佐藤安志(三九)は昨十九日午後四時五十分頃泥醉し平町月見町地內道路で通行人に喧嘩を吹きかけて居るのを巡邏中の平署員に檢束され懇々說諭の上今朝放還さる

○○○○○ 轉車台修繕 平驛轉車臺修繕の爲今二十日午前一時より午前八時迄同轉車臺の上線使用を停止し同時刻中平驛下り七番線を機關車收容線に充てたと

四倉通信

磐陽製糸閉鎖

大浦村仁井田磐陽舘製絲工場に於ては財界不況のため去る十七日限り閉鎖した

○○○○○ 十五年勤續表彰 東部電力四倉變電所勤務山田德氏は滿十五ヶ年勤續の廉により此程日本電氣協會より銀盃一個並に金メダルを贈られた

○○○ 自轉車を盜まる 去る十七日午後一時頃四倉町字原田磐城無盡會社員長谷川久氏が軒下に置きたる自轉車一臺價格五十圓を盜まれ十八日四倉署へ訴へ出づ

平町慶弔錄

△出生 古鍛冶町一一平澤福太郎長女久子 柳町九山崎喜正二女喜江子

▲死亡 鍛冶町二四茨城縣新治郡土浦町三二八四志賀正吉(六) 新川町三二淺吉孫諸橋スミ(四) 長橋町四二寒風澤陽子(一)

市價半額 安賣

舶來生地メニスカス近眼玉 一組 一圓拾錢
優等品白生地栗山近眼玉 一組 六十錢
新メニス玉ズドーシ イロイロ 白イロ 色各一組 四十錢 イロメガネ
五分番と廿五番セル卷淵 三十五錢ヨリ
クローム製淵 三十一錢
理想のメガネ正十八金セル卷 玉入 八圓四十錢
大形絹天張眼鏡入サック 十二錢

精幸堂時計店 平町 才槌小路キクチ自動車店の向

江戸前 更科そば

謹啓時下秋冷之候と相成りました。弊店儀開店以來滿壹ヶ年となりました是偏に皆々樣の御引立の賜と厚く御禮申上ます。就ては今般開店壹週年記念として御禮の爲め値下斷行致し一層時代に即した奉仕を計る覺悟であります。何卒倍舊の御贔負を御願ひ申上ます 敬白

もりかけ 七錢
なべやき 十二錢

平警察署通り 藤よし 電話一六六番